



公正採用選考

上映時間 25分

ビデオ 69,300円(本体66,000円) [C#6459]
※字幕版あり [C#6460]

DVD 69,300円(本体66,000円) [C#6461]
(字幕付き)

のこころ



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17
<http://www.toei.co.jp/edu/>

企画意図

公正な採用選考をしていくうえで最も大切なのは人権尊重の意識をもつことです。意識が変わることにより、行動が変わり、また、人権を尊重するところがあれば必ずと応募者の能力と適性を正しく見極めることにつながります。このビデオは、採用選考における人権意識のあり方を考えるための素材として制作しました。

また、このビデオでは、女性への偏見や、年齢を問わない採用、部落差別問題など採用選考担当者にとって必要な、公正採用選考のための情報を幅広く取り上げることを狙っています。採用選考の担当者の必携のビデオとしてご活用いただきたいと思えます。

内容



プロローグ

「いろはフーズ」の人事課長・山口は、駅のホームで隣り合わせた、就職活動中らしい若い男性と女性に声をかけた。人事担当者として何となく気になったのだ。

それは、偶然にも「いろはフーズ」の採用選考に応募して落ちた二人だった。そして就職が決まらないのは、「いろはフーズ」の面接のせいだと言う。



智美の場合

面接の席で、社長が彼氏や結婚の予定などを聞き始めた。山口も追従する。さらに、一人暮らしかどうかや血液型など、採用と関係ないことを尋ね続ける。智美はふて腐れていく。

「あの面接から自信なくしちゃって、他の会社の面接でも変に警戒して全て不採用」智美は、「いろはフーズ」でどんな仕事に携わりたいかというビジョンを持っていたが、それを話す機会もなく、心からがっかりしたという。



梶谷の場合

梶谷は実家について尋ねられた。家は飲み屋街にある小さな居酒屋で、母親が女手一人で経営してきた。あまり聞かれたくないプライベートなことを質問されて、萎縮したという。

「つらいのは、就職が決まらないのを、つい母のせいにしてしまうことです。母が悪くないのはわかっているのですが」

山口は二人に対して深く反省した。



中原の場合

居酒屋で、山口は友人の中原の話を知っている。中原の会社は業績悪化であと一年もたないという噂がでており、中原も再就職を目指してある会社の面接を受けたという。現在は募集・採用における年齢制限が禁止されているのだが、中原の受けた会社では中高齢者に対する偏見が強く、採用がかなわなかったという。それを聞いて山口も憤慨する。



公正な採用選考のために

山口は公正な採用選考の重要性を改めて自覚した。部下とともに「イメージアッププラン」をつくり社長に提出した。採用基準を明確化し、差別のない公正な採用選考をすすめることで優秀な人材の確保と企業イメージの向上を図る。そのためには、まず意識の変革こそがその第一歩になる。

「企業は社会によって活かされ、企業が人々の生き甲斐と幸せを提供することは義務である。人の幸せを願うところ、それこそがしぜん公正な採用選考につながっていくはずだ」

この言葉が、社長の心を動かした。

プロデューサー・・・中鉢 裕幸
斎藤 拓
町井 新一

脚本・演出・・・熊谷 達文
撮 影・・・越智 光彦
音 楽・・・大江 拓二

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2008年作品

P.

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631
関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026
広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066
福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……

北辰映像株式会社